

高齢者の生活と意識に関する調査について

令和 7 年 7 月 10 日

令和 7 年度 第 1 回 静岡県長寿社会保健福祉計画推進・策定部会

調査の目的等

○ 調査の目的等

施策の方向性や目標等を定める基礎資料とするため、本県の高齢者の生活実態や普段の意識を把握することを目的に、静岡県長寿社会保健福祉計画を策定する前年度に調査を実施している。

○ 調査の実施主体

県内各市町

○ 調査方法

郵送又は訪問による調査

○ 過去調査における有効回答者数

	H22	H25	H28	R1	R4
高齢者一般	34,362人	39,311人	39,405人	37,610人	40,562人
総合事業対象者				2,836人	2,700人
在宅要支援認定者	19,673人	19,181人	8,034人	7,613人	9,269人
在宅要介護認定者			14,323人	15,187人	14,836人
計	54,035人	58,492人	61,762人	63,246人	67,367人

実施スケジュール

○スケジュール

令和9年度～令和11年度までを期間とする第11次計画に反映させるため、以下のスケジュールで調査を実施する予定。

令和6年11月	在宅介護実態調査の実施について通知【国】
令和6年11月	調査実施準備及び予算措置について市町へ依頼【県】
令和7年7月	長寿社会保健福祉計画推進・策定部会において説明
令和7年8月	介護予防・日常生活圏域二エズ調査項目等説明動画公開【国】
令和7年9月	認知症部会において説明
令和7年9月	県下共通調査票(項目)を市町に送付【県】
～令和8年2月末	調査実施、集計【市町】
令和8年3月上旬	集計結果を県に送付【市町】
令和8年4月以降	県下共通調査票(項目)の集計、結果を市町に送付【県】

県独自項目検討

※網掛けは見込

調査項目

○ 調査項目

国が提示する「介護予防・日常圏域ニーズ調査」における必須項目、
「在宅介護実態調査」における基本調査項目を全て含む、県下共通調査票(項目)にて調査を実施。

調査の種類	対象者	主な調査項目	県独自項目
国ニーズ調査に対応 高齢者一般調査	要支援・要介護認定を受けていない、及び介護予防・日常生活支援総合事業の対象となっていない65歳以上の方	(1)家族や生活状況について (2)体を動かすこと、食べることについて (3)毎日の生活について (4)要支援の状況について	設定あり
在宅要支援認定者調査	要支援認定を受けている在宅の方		
総合事業対象者調査	介護予防・日常生活支援総合事業の対象となっている方	上記(1)～(3)	
在宅要介護認定者調査 国実態調査に対応	要介護認定を受けている在宅の方	・介護サービスの利用状況 ・家族の介護状況	設定なし

※国が提示する各調査の項目に大きな変動はない見込み。

参考：調査項目について(R4調査)

高齢者一般調査・在宅要支援認定者調査・総合事業対象者調査

問1 家族や生活状況について

- (1) 家族構成
- (2) 普段の生活での介護・介助が必要か
- (3) 現在の経済的な暮らしの状況についてどう感じるか

問2 からだを動かすことについて

- (1) 階段を手すり等をつたわずに昇っているか
- (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか
- (3) 15分位続けて歩いているか
- (4) 過去1年間に転んだ経験があるか
- (5) 転倒に対する不安は大きいのか
- (6) 週に1回以上は外出しているか
- (7) 昨年と比べて外出の回数が減っているか

問3 食べることにについて

- (1) 身長・体重
- (2) 半年前に比べて固いモノが食べにくくなったか
- (3) 歯の数と入れ歯の利用状況
- (4) 誰かと食事をともにする機会

問4 毎日の生活について

- (1) 物忘れが多いと感じるか
- (2) バスや電車で使って1人で外出しているか
- (3) 自分で食品・日用品の買い物をしているか
- (4) 自分で食事の用意をしているか
- (5) 自分で請求書の支払いをしているか
- (6) 自分で預貯金の出し入れをしているか

問5 地域での活動について

- (1) ボランティアグループ等への参加頻度 ←指標
- (2) 地域活動に参加者として参加してみたいか
- (3) 地域活動に企画・運営者として参加してみたいか

問6 たすけあいについて

- (1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人
- (2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人
- (3) 看病や世話をしてくれる人
- (4) 看病や世話をしてくれる人

問7 健康について

- (1) 健康状態
- (2) どの程度幸せか
- (3) 気分が沈むことなどがあつたか
- (4) 興味がわからない感じなどがあつたか
- (5) たばこは吸っているか
- (6) 現在治療中等の病気はあるか

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

- (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか
- (2) 認知症に関する相談窓口を知っているか ←指標

問9 その他

- (1) 性別・年齢
- (2) 現在の要支援認定の状況 ※総合事業対象者は除く
- (3) 健康のためにどんなことを心がけているか
- (4) 健康についてどのようなことが知りたいか
- (5) 生きがい等を感じるのはどのような時か
- (6) 今後やってみたいと思うものは何か
- (7) 死期が迫ったときにどのような世話を受たいか考えたことはあるか
- (8) 死期が迫ったときにどのような世話を受たいか、誰かと話し合ったことはあるか

県独自項目

在宅要介護認定者調査

A票（本人について）

問1 調査票に回答しているのは誰か

問2 世帯累計

問3 本人の性別

問4 本人の年齢

問5 本人の要介護度

問6 施設等への入所の検討状況

問7 1ヶ月の間の介護保険サービスの利用状況

問8 利用した介護保険サービスの種類

問9 家族や親族からの介護の頻度

B票（主な介護者について）

問1 家族や親族の中で介護を理由として、過去1年間に仕事を辞めた人はいるか

問2 主な介護者の年齢

問3 生活を継続していくため、主な介護者の方が不安に感じる介護について←指標

問4 主な介護者の勤務形態

問5 主な介護者は介護をするにあたり、働き方の調整をしているか

問6 主な介護者は今後も働きながら仕事を続けていけそうか

県独自項目について

○県独自項目について

国が設定する項目の他、県が独自項目を設定しており、この内、毎回2問程度項目を見直している。

○過去調査で見直した項目

	テーマ	具体の調査項目
H28	介護保険制度	介護保険制度全般についてどのように思いますか
		担当のケアマネジャーに満足していますか
R1	免許返納	日頃、どのような目的で自動車を運転していますか
		あなたは、運転免許の返納について、どのように考えていますか
R4	ACP	あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、これまでに考えたことはありますか
		あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、だれかと話し合ったことがありますか
R7	ACP及び認知症について、1問ずつ設定することを検討	